



新年度学習計画にむけて	1
東総学園 訪問記	1,2
理事2年目を迎えて	2
秋・旅行記	3
母を看取る	4

新年度学習計画にむけて

研修部部長 松島正行



毎年度、会員の皆様から講師のご推薦を頂き学習計画を策定しています。新年度にむけて、本年5月学習会から会員の皆様より推薦応募を受付、9月学習会で締め切りました。会員の皆様のたくさんのご応募ありがとうございました。

お陰様で応募総数は旧年度の繰り越し分を含め会員、理事、合計で100通を超える応募となりました。

今後、内部審査を経て年末には講師等20名を選定し計画案を作成し、新年度の総会にご提案したいと考えております。

また本年9月学習会から、会員の確保を図り持続可能な学習会とするためにも会員の皆様のご意見を学習会の運営に反映することが大切と考え、毎月講座等についてアンケートを実施してまいります。どうぞ会員の皆様の忌憚のないご意見をお寄せください。

今後とも会員の皆様に「今日の講演（公演）はよかった」と言われるような計画を進めて行きたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

東総学園（神崎校舎）訪問記

研修部副部長 古川光一



思えば私が学習会に入会したのは、4年前に学園訪問で学習会理事の方のお話を伺い、とても印象の良かったのがきっかけでした。

コロナ禍のこと、ここ2年間は学園訪問ができませんでしたが、3年ぶりの実施ということになり、私も勇んで担当の東総学園神崎校舎（園芸）をお訪ねしました。

私は、現在京葉学園自主の園芸（野菜）に在籍しておりますのでその点からも訪問には興味がありました。

神崎と言えば、発酵とお酒の歴史ある街、県内有数の酒蔵もあり、そうしたところを訪ねること自体楽しみでした。

予定より30分ほど前に到着、駐車場で待っていると暫くして学園の先生が声をかけてくださり、ご挨拶が出来ました。

写真（へたくそです）にありますように園芸専門の施設で、校舎は1階が事務室と作業場、2階が教室、2か所の広い畑とビニールハウス、それに30台くらいの駐車場で、園芸を習得するにはとても恵まれた環境です。

先生から施設の案内をしていただき、説明を伺い、また学習会の話などを行っているうちに講義の時間となりました。



教室に入り、先生からご紹介を頂き、6～7分ということで学習会のPR、入会案内をさせていただき、昼休みに申し込みの受け付け、またご質問にお答えする旨お話ししました。

うまく話せたのかな？申し込みがあるかな？などと気に掛けながら講義中の時間を過ごしましたが、この間、先生方や事務の方と学習会、園芸そして地域の状況などいろいろとお話をする事が出来ました。

昼休みには皆さん和気あいあいの感じで食事をされていました。学園からスイカがふるまわれ、近所の方からはブドウの差し入れ、私もお馳走になりました。

良かったです！

お二人の入会申し込みがあり、継続の希望もいただきました。

また来年以降友達と一緒に入会を相談したいなど意見交換もできました。

なんとか学園訪問のお役目を果たせたかなと、ホットしました。

東総学園（園芸）の先生方、事務の方そして学生の皆様に感謝です。

帰りは利根川沿いの道の駅に立ち寄り、文字通り「利根の川風」を心地よく感じる事ができました。

今回の学園訪問で、言うまでもありませんが、学習会は生涯大学校の各学園に支えられていることを実感しました。その点からも直接触れ合うことのできる学園訪問はとても大切だと思います。

一人でも多く新入会員の増えることを願いたいと思います。

理事2年目を迎えて

研修部副部長 柴田正義



2021年に理事になって、1年目は地に足が着かない状態でした。

2年目になり、様子も少しずつ分かりかけてきて充実した毎日を送っています。

実感として、自分の老化予防に役立っていると思っています。

ただ、いまだに講演・講義に興味湧いてきません。このような私が研修部を続けていいのだろうかという疑問を感じ始めています。でも、誰かの役に立てれば、よしとする。この気持ちを持ち続け、許されるなら、今後も理事を続けて行こうと思っています。

秋、旅行記（山形～金沢）

研修部 高橋静江



10月24日

JR 東日本「鉄道開業」150年記念「三日間乗り放題、¥22,150」を利用した旅です。

取り敢えず初日、山形新幹線で「大石田、へ…」

明日は酒田～直江津…晩秋の日本海に行こうかな？



10月25日

山形「大石田町」新幹線が止まります。コンビニは～見当たらない。バスも無いので、二日間レンタカー利用。宿「あったまり、地域の人々が¥400で入りに来る温泉隣の宿泊施設で、どこかの家で仏事が有ると満員になる。どこかの家で仏事が有ると満員になる。

しかし…朝ご飯メッチャ美味しい（土地の物ばかり）食に興味の無い無い私が完食&新米ご飯「つや姫、お代わりした。寒い朝。ボンヤリと霧の中から現れる風景はまるで「おとぎ話の世界、最上川を付かず離れず…新庄迄田んぼの中を走る。



突然!!現れる対向車、ボンヤリ見える信号…とても楽しい霧の中の1時間。ワクワク・ドキドキの楽しいドライブです。大石田・（レンタカー）新庄・（路線バス）電車で→酒田・新潟・直江津・上越妙高（泊）悠然と流れる最上川、錦に色づいた山々、秋の収穫が済んだ広大な庄内平野、日本海と佐渡島、北前船で栄えた酒田と鳥海山…瞬きすら惜しまれる車窓の風景!!今日は上越妙高で一泊します。



10月26日

上越妙高より北陸新幹線「ハヤブサ」で金沢へ。駅からバス7分、近江町市場でかお買物&2階で昼食。

歩いて10分「金沢城」黒門（北西の入口）広場はグルリと桜が紅葉して美しい。天守閣が樹木の間よりチラッと見える。今回は東茶屋には行かずに尾山神社。16:46「かがやき」で千葉に帰ります。

16:46「かがやき」で千葉に帰ります。新幹線の中で夕食。駅の土産物店で買った「笹の葉寿司」&ビールで東京駅へ3時間のお昼寝タイム。東京駅から津田沼迄で「3日間¥22150「JR 乗り放題の旅」終了です

母を看取る

会長 秋元和信



三月一日、長崎の上戸町病院から電話が入った。母が入院している病院からで、主治医の藤津先生からの連絡である。母は一か月前から同病院に入院し治療を受けている。胆嚢炎が悪化しているとのことで、治療については腹部から針を差し込んで胆汁を抜くか、血管を經由して患部までチューブを通して治療する二通りがあるとの話。何れも全身麻酔が必要とのことで、私は今以上の加療は望まない、痛みを押さえてもらって自然死に至るようにお願いをした。医師からは余命は三週間であること、面会はコロナ禍ではあるがいつでも可能であると告げられた。

母は長崎生まれであるが、戦前に満州へ渡り、満鉄に勤務中に同社勤務の父と出会って結婚、終戦後長崎へ引き上げた。帰国後の父は大病を患うことが多く、定職に就くことが少なかった。

母は私と二人の妹を育てながら保母の資格を取得、長崎市営の保育所で保母として三十数年間勤務して、子供らを大学まで進学させてくれた。父の死後は長崎に住む下の妹宅に同居していた。

一週間後の三月八日、私は横浜に住んでいる上の妹と一緒に長崎へ飛び、長崎空港から病院へ直行して母を見舞った。寝込んでいたが呼びかけると反応があり、小一時間ほど呼掛け、小声の反応を繰り返して帰った。

翌日午前中にも見舞って数語の会話を交わし、僅かに開いた眼で私達を認めてくれた。容体は安定しているとみて、妹と帰京した。

三月九日、主治医からの電話で、最後が近づいているので個室に移したこと、寝たきりで反応がはかばかしくないとの話があった。

三月二十一日、再度横浜の妹と共に長崎へ飛び、病院へ直行して母を見舞った。呼びかけにも反応がなく寝たきりであった。三時間ほど付き添った後、長崎の妹宅へ帰り夕食をとっていた。六時二十分頃病院からの電話で心臓の働きが危ういと伝えられ、直ちに病院へ向かった。病室では既に母は身罷っていた。臨終は六時二十九分。安らかな顔で少しは安心した。

葬儀については、母が加入していた葬祭場には一回目の長崎行きの際に見積もりをもらっていた。それとは別に「小さなお葬式」からも見積もりをとったが、そちらが有利と考えて採用することにした。

三月二十三日告別式を行った。曾孫の姉妹二人から送る言葉があり、その他の曾孫たちは折り鶴を折って棺桶へおさめた。子供三人、孫七人、曾孫十六人を残した。享年九十九。

お墓は戸町の高台にある。